



# つとむ通信

ともに変えよう富津の未来  
ともに創ろう富津の未来

千葉県議会議員 渡辺つとむ事務所  
千葉県富津市千種新田375-5

TEL0439-65-0526 FAX0439-65-0683

e-mail [tsutomu364@rondo.plala.or.jp](mailto:tsutomu364@rondo.plala.or.jp)



ホームページ

政策討議資料

## No.33 令和6年6月 活動報告

令和6年、今年も相変わらずの暑い夏となっています。各地で熱中症の報告が相次ぎ、さらにはコロナウイルスの流行と、なかなか元の生活に戻れない不安な日々をお過ごしの方も多いと思います。あらためて暑中お見舞いを申し上げます。

昨年4月に千葉県議会議員を拝命した自民党所属 渡辺つとむは、県議として約一年間活動をさせていただきましたが県議会の環境にも慣れ、戸惑う事も少なくなりました。新たな課題や目標も次第にはっきりと見えて来たと感じて皆さんにご報告申し上げます。16年前に市議会議員初当選以来続けているこのつとむ通信も、今回で33号を数えます。これからも市民の皆さんに県政情報とその時々で私が感じたこと等をお伝えしてまいります。ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

### ✚ 3月 台湾・嘉義市訪問

所属する市民団体の一員として台湾・嘉義市を訪問。黄市長(写真下)にご挨拶。



嘉義市は台湾中南部に位置する人口 30 万人程度の中規模都市。観光面では阿里山への登り口として、また野球の盛んな土地柄で日本との親密度も高い地域です。

今回私は、嘉義市長に富津市と嘉義市の交流を深めたいと直訴しました。物腰の柔ら

かい知的な女性市長でした。

それに先立ち嘉義市政府に伺い、嘉義市との観光や文化面での友好関係を築くべく親書を携えて副市長に手渡しました。今後の活動に繋げて行きます。



### ✚ 3月議会 県土整備常任委員会 報告

去る3月11日に開催された県土整備常任委員会に於いて渡辺つとむは県執行部に質問を行いました。

#### 1. 「東関東自動車道富津館山道路 4 車線化の進捗は？」



#### ☆県道路計画課長

富津館山道路の4車線化にかかる環境影響評価準備書を去る1月から2月にかけて縦覧した。それに合わせて沿線4市町でそれぞれ説明会を開催し、延べ45名の方に参加していただき、道路の計画や建設発生木材等に関するご質問にお答えしたところ。

3月1日には国が「高速道路の暫定2車線区間の4車線化に係る準備調査の候補箇所として、富津館山道路の富津竹岡インターから鋸南保田インターまでの6,8kmを選定した。事業化に向けて一歩前進したと認識している。県としても、今回選定された富津館山道路の調査が進展し、速やかな事業課に繋がることを期待している。引き続き、富津館山道路の4車線化に向けて都市計画や環境アセスメントの手続きを着実に進めていきたいと考えている。

**要望** 引き続きこのプロジェクトが進むよう一層の尽力をお願いしたい。

## II. 治水ダムや河川の堆砂(たいしゃ)について県はどう把握しているのか？ また撤去した土砂の処分はどうか？

#### ☆県河川環境課長

治水ダムでは年に一回、貯水池内の水深を測る深浅測量等を実施し、堆砂状況を把握している。また県管理河川では、定期的な巡視や出水後のパトロール時に、目視確認や定点写真撮影により、河川の流下を阻害する土

砂の堆積状況を把握している。

撤去した土砂の処分については、県で運用している建設発生土情報管理システムの活用や、国や市町村への個別確認、他の公共事業者間と情報共有しながら、搬出入時期や量などを調整した上で、発生土の有効活用に努めている。特に治水ダムにおいては、これまで主に土地改良事業の農地のかさ上げなどに活用している。



(上: 白狐川下流部 その他市内の湊川等でも堆砂が課題となっている)

**要望** 撤去した土砂を効率的に処分することが重要であることから、引き続き、地域や地元住民も含めた情報共有をしながら対応してもらいたい。

## III. 館山港多目的栈橋のバス転回スペースの進捗は？

#### ☆県港湾課長

館山港多目的栈橋については、館山港振興ビジョンに基づき整備を進めている所。現在暫定形での運用と認識している。今後は地元館山市と協議をして、栈橋先端部の拡幅工事の完了後、途切れることなく、浮栈橋などの機能充実に向けた整備に努めて参りたい。

**要望** 多目的栈橋が完了することによる経済効果、特に観光や関連する商工業への波及効果は大きいと期待される。着実に整備が進むよう要望する。

## 🚩 6月議会 健康福祉常任委員会 報告

健康福祉常任委員会は、4月に今までの副委員長の自動失職に伴い、欠員となっていた副委員長選挙が行われました。ここで一期選出議員の中から、私渡辺が指名を受け県土整備常任委員会から健康福祉常任委員会に移り副委員長に選出されました。6月議会中のみ健康福祉常任委員副委員長でしたが、新たな委員会の運営を経験出来、大いに刺激を受けることが出来ました。推して下さった同僚議員の皆様には感謝です。

その健康福祉常任委員会7月4日の私の質疑について報告いたします。

### I. 株式会社 恵への対応について

6月26日（株恵（めぐみ）が運営する障害者グループホームについて愛知県及び名古屋市による指定取り消し処分が行われた。それに伴い厚生労働省が同社に対し連座制を適用したとの報道があった。これにより（株恵および同社の役員等は、障害福祉サービス事業所の指定更新を今後受けることができなくなる。そうなると同社が運営する千葉県内のグループホームの利用者にも影響が出るのが懸念される。利用者や家族にとっては、今後もサービスが受けられるのかどうか、グループホームから退去する場合には次の行き先が見つかるのかどうか、そんな大きな不安を抱えることになりはしないか？

☆障害福祉事業課長

今回の連座制の適用を受けて県では、事業者に対し、障害福祉サービスが確実に提供されるように指導している。利用者や家族には、市町村に対し、相談支援事業所と連携し、利用者の状況や意向の確認等をするよう、文書で依頼し、県のホームページに特設ページを開設して相談窓口の紹介を行っている。また、今後の事業所の適正な運営確保のための対応について、事業者を対象に制度内容につ

いての説明会を実施するとともに、健康福祉センターが定期的に行う実地指導において、サービス内容等の確認を行っているところだ。引き続き市町村と連携を取りながら適正な運営の確保に努めていく。



### II. 医師の働き方改革について

今年4月から医師の時間外勤務の上限規制が施行されたが、県立病院において医療提供に影響は出ていないのか？

☆病院局経営管理課長

県立病院では医師の働き方改革の一環として、医師の勤務状況の実態把握と総労働時間の縮減に努めてきた。時間外勤務の上限規制の法制化をうけ、医師の労務管理の徹底を図るため新たに「勤怠管理システム」を導入した。各医師に勤怠管理を行うシステム（パソコン）を配布し労働時間管理を行っている。今後とも適切な労務管理を実施していく。

## 🚩 活動報告

### 各地の勉強会や会議に参加

☆3月30日 お茶の水の明治大学キャンパスで行われた「日本自治創造学会」に参加。

この会議は私、渡辺が市議会議員時代から何度も参加していた会議。千葉県議会からは私の他にもう一人の先輩議員が参加していました。



河野太郎氏がスピーカーとして、デジタル政策についてお話されました。

☆6月19日 大雨の翌日。  
漁港に隣の小糸川から流れて来た流竹木が大量に入り込み、漁師さん達が出漁できない事態に。急いで港内の竹木の撤去を地元  
の浚渫業者さんをお願いしました。



### ☆海水浴場の海開き



市内4か所の海水浴場が順次海開きを行いました。多くの人で賑わい事故の無いように祈願しました。

### ☆能登半島地震に学ぶ

発災後7カ月以上が経過した能登半島ですが復興の道は険しく、被災された多くの方々が元の生活に戻れない状況が続いています。心からお見舞いを申し上げます。



半島という同じ地形を持つ千葉県南部は能登半島の地震の教訓を知っておかなければいけません。上の写真は知人から送っていただいた珠洲市の応急仮設住宅の工事風景。上下水道施設、道路などの状況も学び防災・減災に役立てたいと思います。

### 渡辺つとむプロフィール

昭和36年4月25日 富津市千種新田生れ  
県立木更津高校卒  
立教大学経済学部卒(弁論部出身)  
工学院大学専門学校建築科研究科卒  
藤和不動産(株)財務部に勤務後  
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役



元富津市議会議員長(令和2年～令和3年)  
富津市バドミントン協会会長  
富津市国際交流協会副会長  
富津市スポーツ推進委員  
令和5年4月 千葉県議会議員当選  
千葉県議会 県土整備常任委員会副委員長  
県議会 議会運営委員会委員  
千葉自民党政調会 委員